

高等学校学習指導要領比較対照表【専門教育：体育】

改 訂（平成30年告示）	現 行（平成21年告示）
<p>第3章 主として専門学科において開設される各教科</p> <p style="margin-left: 40px;">第10節 体 育</p> <p style="margin-left: 80px;">第1款 目 標</p> <p>体育の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，主体的，合理的，計画的な解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，健やかな心身の育成に資するとともに，生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに，生涯を通してスポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) スポーツの推進及び発展についての自他や社会の課題を発見し，主体的，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与することを目指す，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>第3章 主として専門学科において開設される各教科</p> <p style="margin-left: 40px;">第10節 体 育</p> <p style="margin-left: 80px;">第1款 目 標</p> <p>心と体を一体としてとらえ，スポーツについての専門的な理解及び高度な技能の習得を目指した主体的，合理的，計画的な実践を通して，健やかな心身の育成に資するとともに，生涯を通してスポーツの振興発展に寄与する資質や能力を育て，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。</p> <p>(新設)</p> <p>(新設)</p> <p>(新設)</p>
<p>第2款 各 科 目</p> <p>第1 スポーツ概論</p> <p style="margin-left: 20px;">1 目 標</p> <p>体育の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，主体的，合理的，計画的な</p>	<p>第2款 各 科 目</p> <p>第1 スポーツ概論</p> <p style="margin-left: 20px;">1 目 標</p> <p>スポーツについての総合的な理解を通して，その知識を運動の主体的，合</p>

解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付ける。
- (2) スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための学習に主体的に取り組む態度を養う。

2 内容

1に示す資質・能力を育成するため、次の[指導項目]を指導する。

[指導項目]

- (1) スポーツの文化的特性や現代におけるスポーツの発展
- (2) スポーツの効果的な学習の仕方
- (3) 豊かなスポーツライフの設計の仕方
- (4) スポーツの多様な指導法と健康・安全
- (5) スポーツの企画と運営

3 内容の取扱い

- (1) [指導項目]の(1)から(5)までの各項目とも扱うものとする。
- (2) 指導に当たっては、「スポーツ概論」の学習成果が「スポーツ 」、 「スポーツ 」、 「スポーツ 」、 「スポーツ 」、 「スポーツ 」及び「スポーツ総合演習」の各科目における学習と密接に関連していることに配慮するものとする。

第2 スポーツ

1 目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な

理的、計画的な実践に活用できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

(新設)

(新設)

(新設)

2 内容

(新設)

- (1) スポーツの歴史・文化的特性と現代の特徴
- (2) スポーツの効果的な学習の仕方
- (3) 豊かなスポーツライフの設計
- (4) スポーツの指導法と安全
- (5) スポーツの運営及び管理

3 内容の取扱い

- (1) 内容の(1)から(5)までの各事項とも扱うものとする。
- (2) 指導に当たっては、各事項に関連した課題研究や実習などの知識を活用する学習活動を適宜扱うものとする。

第2 スポーツ

1 目標

採点競技及び測定競技の専門的な理解と高度な技能の習得を目指した主体

解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 採点競技及び測定競技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。
- (2) 採点競技及び測定競技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 採点競技及び測定競技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

2 内容

1 に示す資質・能力を育成するため、次の[指導項目]を指導する。

[指導項目]

- (1) 採点競技への多様な関わり方
- (2) 測定競技への多様な関わり方

3 内容の取扱い

- (1) [指導項目]の(1)又は(2)のいずれかを選択して扱うことができる。
- (2) [指導項目]の(1)については、体操競技を、(2)については、陸上競技、水泳競技の中から適宜取り上げるものとし、スキー、スケート等についても、学校や地域の実態に応じて扱うことができる。

第3 スポーツ

1 目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資

質的、合理的、計画的な実践を通して、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

(新設)

(新設)

(新設)

2 内容

(新設)

- (1) 採点競技の理解と実践
- (2) 測定競技の理解と実践

3 内容の取扱い

- (1) 内容の(1)又は(2)のいずれかを選択して扱うことができる。
- (2) 内容の(1)については、体操競技を、(2)については、陸上競技、水泳競技の中から適宜取り上げるものとし、スキー、スケート等についても、地域や学校の実態に応じて扱うことができる。

第3 スポーツ

1 目標

球技の専門的な理解と高度な技能の習得を目指した主体的、合理的、計画的な実践を通して、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 球技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。
- (2) 球技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 球技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

(新設)

(新設)

(新設)

2 内容

1 に示す資質・能力を育成するため、次の[指導項目]を指導する。

[指導項目]

- (1) ゴール型球技への多様な関わり方
- (2) ネット型球技への多様な関わり方
- (3) ベースボール型球技への多様な関わり方
- (4) ターゲット型球技への多様な関わり方

3 内容の取扱い

- (1) [指導項目]の(1)から(4)までの中から一つ以上を選択して扱うことができる。
- (2) [指導項目]の(1)については、バスケットボール、ハンドボール、サッカー、ラグビーの中から、(2)については、バレーボール、卓球、テニス、バドミントンの中から、(3)については、ソフトボール、野球の中から、(4)については、ゴルフを適宜取り上げるものとし、その他の球技についても、学校や地域の実態に応じて扱うことができる。

2 内容

(新設)

- (1) ゴール型球技の理解と実践
- (2) ネット型球技の理解と実践
- (3) ベースボール型球技の理解と実践
- (4) ターゲット型球技の理解と実践

3 内容の取扱い

- (1) 内容の(1)から(4)までの中から一つ以上を選択して扱うことができる。
- (2) 内容の(1)については、バスケットボール、ハンドボール、サッカー、ラグビーの中から、(2)については、バレーボール、卓球、テニス、バドミントンの中から、(3)については、ソフトボール、野球の中から、(4)については、ゴルフを適宜取り上げるものとし、その他の球技についても、地域や学校の実態に応じて扱うことができる。

第4 スポーツ

1 目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な

第4 スポーツ

1 目標

武道及び諸外国の対人的競技等の専門的な理解と高度な技能の習得を目指

解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 武道及び諸外国の対人的競技等の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。
- (2) 武道及び諸外国の対人的競技等における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 武道及び諸外国の対人的競技等の学習に主体的に取り組むとともに、伝統的な行動の仕方、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

2 内容

1に示す資質・能力を育成するため、次の[指導項目]を指導する。

[指導項目]

- (1) 武道への多様な関わり方
- (2) 諸外国の対人的競技への多様な関わり方

3 内容の取扱い

- (1) [指導項目]の(1)又は(2)のいずれかを選択して扱うことができる。
- (2) [指導項目]の(1)については、柔道、剣道、相撲、空手道、なぎなた、弓道、合気道、少林寺拳法、銃剣道の中から、(2)については、レスリングを適宜取り上げるものとし、その他の武道等についても、学校や地域の実態に応じて扱うことができる。

第5 スポーツ

1 目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の

した主体的、合理的、計画的な実践を通して、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

(新設)

(新設)

(新設)

2 内容

(新設)

- (1) 武道の理解と実践
- (2) 諸外国の対人的競技の理解と実践

3 内容の取扱い

- (1) 内容の(1)又は(2)のいずれかを選択して扱うことができる。
- (2) 内容の(1)については、柔道、剣道、相撲、なぎなた、弓道の中から、(2)については、レスリングを適宜取り上げるものとし、その他の武道等についても、地域や学校の実態に応じて扱うことができる。

第5 スポーツ

1 目標

ダンスの専門的な理解と高度な技能の習得を目指した主体的、合理的、計画的な実践を通して、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を

育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) ダンスの推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。
- (2) ダンスにおける自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) ダンスの学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

2 内容

1に示す資質・能力を育成するため、次の[指導項目]を指導する。

[指導項目]

- (1) 創造型ダンスへの多様な関わり方
- (2) 伝承型ダンスへの多様な関わり方

3 内容の取扱い

- (1) [指導項目]の(1)又は(2)のいずれかを選択して扱うことができる。
- (2) [指導項目]の(1)については、創作ダンス、現代的なリズムのダンスの中から、(2)については、フォークダンス、社交ダンスの中から適宜取り上げるものとし、その他のダンスについても、学校や地域の実態に応じて扱うことができる。

第6 スポーツ

1 目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

(新設)

(新設)

(新設)

2 内容

(新設)

- (1) 創造型ダンスの理解と実践
- (2) 伝承型ダンスの理解と実践

3 内容の取扱い

- (1) 内容の(1)又は(2)のいずれかを選択して扱うことができる。
- (2) 内容の(1)については、創作ダンス、現代的なリズムのダンスの中から、(2)については、フォークダンス、社交ダンスの中から適宜取り上げるものとし、その他のダンスについても、地域や学校の実態に応じて扱うことができる。

第6 スポーツ

1 目標

自然とのかかわりの深い野外の運動の専門的な理解と高度な技能の習得を目指した主体的、合理的、計画的な実践を通して、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

- (1) 自然との関わりの深い野外の運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。
- (2) 自然との関わりの深い野外の運動における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 自然との関わりの深い野外の運動の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

(新設)

(新設)

(新設)

2 内容

1 に示す資質・能力を育成するため、次の[指導項目]を指導する。

[指導項目]

- (1) 自然体験型の野外の運動への多様な関わり方
- (2) 競技型の野外の運動への多様な関わり方

3 内容の取扱い

- (1) [指導項目]の(1)又は(2)のいずれかを選択して扱うことができる。
- (2) [指導項目]の(1)については、キャンプ、登山、遠泳などの水辺活動の中から、(2)については、スキー、スケートの中から適宜取り上げるものとし、その他の運動についても、機械等の動力を用いない活動を中心に、学校や地域の実態に応じて扱うことができる。
- (3) 特定の期間に集中的に校外で授業を行う場合は、安全対策に十分配慮するものとする。

2 内容

(新設)

- (1) 自然体験型野外活動の理解と実践
- (2) 競技型野外活動の理解と実践

3 内容の取扱い

- (1) 内容の(1)又は(2)のいずれかを選択して扱うことができる。
- (2) 内容の(1)については、キャンプ、登山、遠泳等の水辺活動の中から、(2)については、スキー、スケートの中から適宜取り上げるものとし、その他の運動についても、機械等の動力を用いない活動を中心に、地域や学校の実態に応じて扱うことができる。
- (3) 特定の期間に集中的に校外で授業を行う場合は、安全対策に十分配慮するものとする。

第7 スポーツ

1 目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資

第7 スポーツ

1 目標

体づくり運動の専門的な理解とその活用を目指した主体的、合理的、計画的な実践を通して、実生活に役立てることができるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育て

質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 体づくり運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。
- (2) 体づくり運動における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 体づくり運動の学習に主体的に取り組むとともに、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

2 内容

1 に示す資質・能力を育成するため、次の[指導項目]を指導する。

[指導項目]

- (1) 体づくり運動への多様な関わり方
- (2) 目的に応じた心身の気付きや交流を深めるための運動の仕方
- (3) ライフステージ及びライフスタイルに応じた体操や運動の計画の立て方

3 内容の取扱い

[指導項目]の(1)を入学年次で扱うものとし、[指導項目]の(2)及び(3)はその次の年次以降で扱うこととする。

第8 スポーツ総合演習

1 目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付ける。

る。

(新設)

(新設)

(新設)

2 内容

(新設)

- (1) 体づくり運動の理解と実
- (2) 目的に応じた心身の調整の仕方や交流を深めるための運動の仕方の理解と実践
- (3) ライフステージに応じた運動の計画の立て方の理解と実践

3 内容の取扱い

内容の(1)を入学年次で扱うものとし、内容の(2)又は(3)のいずれかを選択して扱うことができる。

第8 スポーツ総合演習

1 目標

スポーツの専門的な知識や高度な技能の総合的な活用を目指した課題研究を通して、生涯を通じた豊かなスポーツライフの実現及びスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

(新設)

- (2) スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し，思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための課題研究に主体的に取り組む態度を養う。

(新設)

(新設)

2 内容

1 に示す資質・能力を育成するため，次の[指導項目]を指導する。

[指導項目]

- (1) スポーツの多様な理論や実践に関する課題研究
- (2) スポーツの多様な指導や企画と運営に関する課題研究
- (3) スポーツを通した多様な社会参画に関する課題研究

2 内容

(新設)

- (1) スポーツの知識や実践に関する課題研究
- (2) スポーツの指導や運営及び管理に関する課題研究
- (3) スポーツを通した社会参画に関する課題研究

3 内容の取扱い

- (1) [指導項目]の(1)から(3)までの中から一つ以上を選択して扱うことができる。
- (2) 指導に当たっては，「スポーツ概論」との関連を図るとともに，体育科に属する他の科目の学習成果を活かし，関係団体等との協力，連携の機会を通して，知識及び技能，思考力，判断力，表現力等，学びに向かう力，人間性等のバランスのよい育成に配慮するものとする。

3 内容の取扱い

- (1) 内容の(1)から(3)までの中から一つ以上を選択して扱うことができる。
- (2) 指導に当たっては，「スポーツ概論」との関連を図り，実習，体験，発表等の活動を重視するとともに，言語に関する能力の育成に配慮するものとする。

第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い

1 指導計画の作成に当たっては，次の事項に配慮するものとする。

- (1) 単元など内容や時間のまとまりを見通して，その中で育む資質・能力の育成に向けて，生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際，体育の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，主体的，合理的，計画的な解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，健やかな心身の育成に資するとともに，生涯を通してスポーツの推進及び

第3款 指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱い

1 体育に関する学科における指導計画の作成に当たっては，各年次において次の事項に配慮するものとする。

(新設)

